

感染症拡大防止下における大規模水害オペレーション訓練結果報告

最新IT技術を活用し、WEB等により感染症拡大防止下において、情報共有・意思決定をするための訓練を実施。三密を回避したオペレーション、広域分散避難の手順を確認することができました。

IT技術の活用は、三密防止につながるほか、作業の省力化、効率化の効果が大きいことから、今後の新たな「災害対応のスタイル」として転換を図る必要があります。

本訓練を参考に、自治体をはじめ防災機関においては、必要な準備を行ってください。

訓練の様子は、以下の動画投稿サイトで公開中



<https://www.youtube.com/channel/UCS0KTELZR98zv6nvIVQyIeQ/>



共同記者会見の様子

<訓練の概要>

- 開催日時 令和2年5月24日（日）10：00～11：10
- 実施方法 中部地整、气象台、三重県、桑名市、防災科研のやり取りは、TV会議システム（MeetingPlaza）で行い、訓練状況をYouTubeでLIVE配信
- 訓練のポイント
 - 【感染症対策】
 - ① 広域分散避難を行うため、避難所をより早く準備できるよう従来より倍早い段階で河川水位予測の情報提供を行う。
 - ② 車中避難も一つの避難先となりうるため、災害復旧に支障のない範囲で駐車スペースやトイレを備えた整備局施設を車中泊避難所として活用する。
 - ③ 三密を回避するために地方整備局と地方气象台の共同記者会見は、関係者やメディアが一堂に会さずに済むようWEBで実施する。
 - 【最新IT技術】
 - ① 住民がいつ避難すべきか意思決定ができるよう、従来と異なる詳細な高潮・高波浸水予測の情報提供を行う。
 - ② AI技術を活用して、首長が実施する避難勧告等の難しい意思決定を支援する。
 - ③ 「災对本部のホワイトボードに書かれた情報を人をかき分けて見に行く」ことから「災害情報共有プラットフォーム『SIP4D』を活用し、自分の席や最前線の現場でリアルタイムに情報を共有するとともに、意思決定を行う。」
- 参加機関 内閣府、国土交通省中部地方整備局、名古屋地方气象台、三重県、桑名市、（国研）防災科学技術研究所、（一社）日本建設機械施工協会
- 参加者 勢田中部地方整備局長、鈴木三重県知事、伊藤桑名市長、堀内閣府SIPプログラムディレクター 等
- 主なコメント
 - 勢田局長「避難の初動を早くするため従来以上の予測情報の提供や整備局施設の活用など、整備局に要請することがあれば、遠慮なく言ってほしい。」
 - 鈴木知事「三重県は、全国に先駆けてICT技術を防災に活用してきた。多くの人がかかり活用できるように訓練を何度も積み重ねていくことが大事。」
 - 伊藤市長「これまでの顔の見える関係を構築してきたことでWEBを用いた訓練でも安心感をもって参加できた。新しい技術を取り込むとともに連携をより深めていくことが重要。」